

「『銀河のしずく』頂上コンテスト」で2人受賞 花巻市の鎌田さんと北上市の田村さん



阿部勝昭組合長（左から2番目）に受賞を報告した鎌田さん（中）

岩手県などが開いた「第1回『銀河のしずく』頂上コンテスト」で花巻市の鎌田淳さんが最優秀賞を、北上市の田村庄平さんが3位を受賞しました。

コンテストには、県内から30点の応募があり、12月22日に開かれた最終審査では、事前審査を通過した4点を外観や香り、味など6項目を7段階で審査しました。鎌田さんの米は、噛めば噛むほどうま味が感じられる点が評価されました。

鎌田さんは「JAの栽培マニュアルや指導に基づき栽培した。今後も指導内容に沿った栽培を続け、良食味の銀河のしずくをたくさん収穫したい」と意気込みました。

感謝を込めて餅をお振る舞い 釜石支店感謝デー



女性部員やちよリスが餅を振る舞いおもてなし

釜石支店（釜石市大渡町）は1月4日、組合員や地域住民の方々に日頃の感謝を伝えるイベントを開きました。

女性部とおのよつば地域支部釜石支部が約5kgの餅を準備。JAの川崎勇一理事や久保公正監事が餅を丁寧につき、支店職員や女性部員たちがきなことあんこの2種類を来店者に新年を祝って振る舞いました。また、ちよリスも登場し、一緒に記念撮影をするなどして、子どもたちを喜ばせました。

齊藤金浩支店長は「今年から始めたが、喜んでもらえたので来年以降も続けていきたい。農家以外の方にも身近に感じてもらえる支店を目指していく」と話しました。

園芸YARUBE 園芸個別相談会を開催

JAや花巻市、県などで構成する花巻市農業振興対策本部園芸振興部会は1月19日、園芸相談会「YARUBE セミナー」をJAコミュニティホール「おっほの館」（花巻市野田）で開きました。

約10人がアスパラガスやピーマン、花きなどの園芸品目の新規栽培や園地拡大などを考え参加。職員たちが品目の特徴や増収のポイント、助成制度などを詳しく説明し、参加者一人一人に合わせて助言をしました。

カボチャやタマネギの導入を考えている小菅博文さんは「品目の細かな部分や準備するべきことを聞けて、栽培するイメージが湧いた」と話しました。



品目ごとに分かれて相談する参加者とさまざまな声に応える担当者

女性部と地域が連携。支店に集い味噌仕込む 地域に根ざす支店としての役割

笹間支店（花巻市北笹間）の調理室で1月10日、地区住民で構成する笹間地区コミュニティ会議とJA女性部笹間支部が連携し、笹間学童クラブの子どもたちと味噌の仕込みを行いました。

児童11人が参加し、部員と共に減塩と無添加にこだわった味噌作りに挑戦。照井依吹ちゃん（8）は「豆をつぶすのが楽しかった。出来上がりが楽しみです」と笑顔を見せ、八重樫禮子部員は「地域と女性部が支店に集って食育の場を共に作れるのは素晴らしい活動。今後も継続したい」と話しました。

支店の調理室は希望者に開放しており、組合員や住民との繋がりを深めるきっかけになっています。



完成後は味噌汁を作って共に味わうほか、児童の家庭へ配付します

園芸始めませんか？ 新規栽培者説明会を開催



参加者からのさまざまな質問に、親身になり応える担当者

JAは1月31日、園芸品目新規栽培者説明会をJA北上地域営農センター（北上市流通センター）で開きました。

小ぎく、きゅうり、ピーマンのJAが推進している園芸品目の説明会に、合わせて約20人が参加。品目の特徴や一年を通じた作業内容、収支の試算を説明し、参加者からの質問に丁寧に答え、不安や疑問を払拭しました。参加した平愛子さんは「いろいろな疑問が解消でき、参加してよかった。説明を基に準備をしたい」と話しました。

JAでは定期的な説明会や、場に出向いての見学会を開き、農家の所得向上と生産拡大、新規栽培者への支援活動に取り組んでいます。

親しみのある集える支店を目指して 笑いとおしゃべりして学び。二子支店くらしの活動



会場で笑顔が溢れ、参加者同士が交流を深めた「笑いヨガ」

二子支店（北上市二子町）で1月30日、約30人の組合員や地域住民が集い「笑う門には健康来たる」をテーマに、笑いヨガやハンドマッサージ、女性部宮野目支部によるお米ケーキ作りを学びました。

笑いヨガの菊池裕子講師は「楽しいから笑うのではなく笑うから楽しくなる」とさまざまな動きを指導。参加者たちは大笑いしながら全身を動かし、会場は明るい笑い声で溢れました。

他の企画も、地域住民と組合員が職員や他地域の女性部員と交流できるよう設定。照井祐子支店長は「誰でも気軽に立ち寄れるような、親しみのある集える支店にしたい」と語りました。

輝くJA管内の児童・生徒たち！ ～全国コンクールで堂々の入賞～

JAグループが主催する「第42回『ごはん・お米とわたし』作文・図画コンクール」とJA共済連が主催する「第46回JA共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクール」において、当JA管内の児童・生徒たちが多数入賞しました。今回は、素晴らしい成績を残した方々を紹介します。

第42回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール

県内の小中学校合わせて60校から作文131点、図画249点の応募。
全国では作文5万4115点、図画7万2539点の応募がありました。

作文 全国コンクール 優秀賞
県コンクール 岩手県知事賞

「ぼくの元気はごはんから」

伊藤 優太さん
(花巻市立湯本小学校3年)

この作文は、家族が農業をしていて、食について皆さんと一緒に考えて欲しいという気持ちから書きました。僕は、お母さんが作るおにぎりの中でサケが一番好きです。これからは毎日ごはんをしっかりと食べて大きくなりたいです。



●審査講評.....
お母さんから聞いた「食べる」ことについてのお話をもとに、ごはんのおいしさと、食材への感謝について考えを深め、しっかりとした構成と表現でまとめられた、大変優れた作品です。

第46回JA共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクール

県内の小中学校合わせて64校から1639点の応募。全国では16万4323点の応募がありました。

全国コンクール JA共済連会長賞・佳作
県コンクール 金賞



柴田 龍星さん
(北上市立南小学校3年)



熊谷 知佐さん
(北上市立江釣子中学校3年)

全国コンクール 農林水産大臣賞
県コンクール 金賞

小林 るいさん(北上市立江釣子小学校4年)

この絵は、悲しい交通事故が起きてほくなくないと思い、歩行者が運転手さんによく見えるように手をひんと高く伸ばしたり、目立つ色の服にしたり工夫しました。また、運転手さんも安心して運転しているように、笑顔にしました。こんな名誉ある賞をいただいたうれしさを励みに、これからもいろいろな絵を描いていきたいです。



●審査講評.....
元気よく手を挙げた二人が、しっかりとした目で、車に気を付けている様子がよく描けています。信号が青でも周りをよく見て渡りたいですね。

農家、農業法人の皆さんへ朗報！

JA農業経営管理支援事業

会計記帳代行 & 申告事務支援

JAいわてグループでは、農業者の皆さんの**所得向上**と**生産拡大**を応援するため、簿記記帳・決算書作成の代行を行っています。

平成30年度利用者募集中！

農 家：平成30年1月から対応
農業法人：平成30年3月以降の事業年度から対応

●主な代行事務

●各種会計帳簿の作成・保存

農家の皆さんの経理データをJAの専用システムに入力します。

●決算書類の作成

白色・青色申告双方に適用可能です。

メリット

- 日常の煩雑な簿記記帳から解放され、その他の営農管理に専念できる！
- 青色申告特別控除(最高65万円)の特典により、住民税・国民健康保険税の節約に！
- 経営や税金の悩みなど、JAスタッフや税理士に気軽に相談！
- JA総合事業による各種提案など、経営発展を目指すための支援を受けることができる！

●JA取引は自動仕訳入力！手間とコストを大幅にカット！

●会計記帳代行の利用要件(農家・農業法人が行うこと)

- 利用料金のご負担(右表参照)
- 前年度の確定申告書など必要書類の提出
- 現金出納帳(JA取引以外)などの提出(原則毎月)
- 定期個別面談などへの出席(年3回～4回)

	農家	農業法人
基本料金 (年間・税抜)	35,000円～	100,000円～
※経営規模に応じて段階的に増額します。 ※経営規模に応じて段階的に増額します。 ※このほか、経営実態(消費税計算・飼養家畜の有無など)に応じて加算料金が発生します。		

確定申告書の作成は、別途、税理士への依頼が必要になります。
詳しい代行の流れなどは下記までお問い合わせください。JAいわて花巻のホームページにも掲載しています。

お気軽にどうぞ▶ 営農推進部営農振興課または各地域営農センター営農振興課 ☎0198-23-0985



各グリーンセンター定休日

2・3月の定休日と営業時間は次の通りです。ご確認の上ご来店ください。

※定休日と営業時間はそれぞれの店舗によって異なりますのでご確認ください。

※右記のほかに、2月28日(水)は決算棚卸のため全店舗休業します。

	営業時間	2月の定休日	3月の定休日
花巻	8:30～17:00	12日(月)・18日(日)	4日(日)・18日(日)
石鳥谷		10日(土)・24日(土)	10日(土)・24日(土)
大迫		土曜日・日曜日・祝日	土曜日・日曜日・祝日
東和		17日(土)	3日(土)・17日(土)
北上		11日(日)・25日(日)	11日(日)・25日(日)
西和賀		土曜日・日曜日・祝日	土曜日・日曜日・祝日
遠野		10日(土)・24日(土)	10日(土)・24日(土)

●お問い合わせ／営農推進部生産資材課 ☎0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで



産直 母ちゃんハウスだあすこ沿岸店

2周年創業祭を開催!!

JA産直「母ちゃんハウスだあすこ沿岸店」は1月15日に開店2周年を迎えました。1月13日と14日には2周年を記念して創業祭を開催。新鮮でお買い得な商品を求めて、2日間で約1000人が訪れました。

産地間交流をするJA紀の里のミカンの詰め放題。甘くておいしいミカンを求めて、多くの人詰め放題に挑戦しました。また、JA静岡市の静岡茶の詰め放題や、花巻産ひとめぼれの特売なども行われました。



初日には沿岸産直部会員が、女性部宮野目支部の「震災を風化させたくない」という思いから贈られたあんを使用し、たおしのご約120杯を振る舞いました。来店者は冷えた体にしみる温かい食べ物に舌鼓を打ちました。2日目は、新おうち漁業協同組合女性部員が地元食材を使った鮭汁を振る舞いました。



私達は皆さんを忘れたことはありません。そしていつも応援しております。少しでも心を込めて作りました小豆を贈ります。ほどよい甘さにしてあります。寒さ厳しくなりますが皆様のご健勝をお祈りしております。

毎月11日は感謝デー
「母ちゃんハウスだあすこ沿岸店」では毎月11日、お客様への感謝の気持ちを込めて感謝デーを開催しています。お徳がいっぱいですので、ぜひ来店ください。
★地元で採れた農産物・海産物の特売!
★食堂メニューを特別価格で販売!

■母ちゃんハウスだあすこ沿岸店
大槌町大槌16-28 ☎0193-42-8151
駐 車 場: 普通車25台・マイクロバス2台
営業時間: 3月～11月 午前9時～午後6時
12月～2月 午前9時～午後5時
※定休日は年末年始と第2木曜日を基本としていますが、祝祭日と重なった際は変更する場合があります。

周辺案内図

ぼらーの 広場

ぼらーの広場は、読者の皆様との交流の場です。皆様からテーマにちなんだお便りを募集し、紹介しています。

今月のテーマ 節 分

投稿を頂いた方の中から抽選で、今月は**岩手早池峰 のむヨーグルト**をプレゼント!



手作りの鬼の面を作ったの豆まきに子どもたちは大ハッスル!本気で当てられるので父鬼と母鬼はすぐ負けでしまいます。(花巻市・ゴーゴー)

子供の頃、一度だけ掛け声をかけながら落花生をまいて拾いました。量が汚れてしまったし、食べるのに夢中でした。(北上市・I.R)

子どもや孫たちが大きくなったので、夫婦で豆まき。夫はまかないので、大豆を強烈にぶつけて鬼退治をしています。(北上市・サル)

我が家では3年くらい前に大豆から落花生に変わりました。男の子の孫2人の元気な声が聞こえているのが幸せです。(花巻市・子凡孫)

神社の豆まきで、マスごと豆が落ちてきました。集めて返したら、なんとお酒が当たりました!節分バンザイ!(北上市・かすみ草)

豆まきの豆は大豆しか知らなかった私は、岩手では殻付きの落花生をまくと知ってカルチャーショックを受けました。(花巻市・にゃんこ)

来月のテーマ(4月号掲載)「出会い」応募締切/平成30年3月9日(金)消印有効

テーマにちなんだエピソードを募集します。人とだけでなく、ペットや物事など、皆さんはどんな出会いがあった、したいですか?
応募方法: ①テーマにちなんだお話し②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③ペンネーム④JAや広報誌に関するご意見・ご感想を記入の上、はがきまたはメールにてご応募ください。右記のQRコードからのご応募もできます。

※投稿頂いた中から内容を誌面に掲載させていただきます。ペンネームが無い場合はイニシャルでの掲載になります。
●はがき: 〒025-8504 花巻市野田 316-1 JAいわて花巻企画広報課「ぼらーの広場」宛
●メール: polano@jahanamaki.or.jp ●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



5名様にプレゼント!
だあすこ 煎餅セット
JAいわて花巻 応募フォーム
<https://www.jahanamaki.or.jp/entry/index.php>



「注文の多いやさわ母ちゃん市」営業開始!
心機一転!3月から支店前でプレハブ営業!

女性部矢沢支部の産直の会「注文の多いやさわ母ちゃん市」が3月から今シーズンの営業を開始します。

幾度もの解散の危機を乗り越え、会にとっては初めての専用施設となるプレハブを矢沢支店敷地内に設置し、心機一転!今年度は3月中下旬より毎週木曜日に販売をスタートします!

清水ひろ子会長は「地域や支店の支えと部員の頑張りで幾度もの危機を乗り越えてきた。地域やJAに貢献出来るよう一步一步着実に進化させていきたい」と語りました。



注文の多いやさわ母ちゃん市の歴史

青空市の先駆けとして、Aコープやさわ店舗前で毎週木曜日に母ちゃん市を20年以上展開!
平成25年に同店の閉店に伴い販売場所を無くし、一旦は解散の危機に...

地域住民や部員からの強い要望もあり、同年に矢沢支店近くのJA元資材倉庫で販売を再開!
平成29年8月に倉庫の解体に伴い、販売場所をまたも無くす...

矢沢支店と連携してすぐさま支店前での販売を開始!

支店前での販売は人の流れも良く、また地域住民が支店に集うきっかけも生まれました。

平成30年3月、矢沢支店敷地内にてプレハブ営業を開始(予定)!
営業日時: 毎週木曜日 午後2時～午後4時
詳しいオープン開始日や場所などは矢沢支店にお問い合わせください。

知って納得JA ー協同組合の力ー

Q JAは何をしている協同組合なの?

A 農業を中心に、地域住民のくらしをより良くするための事業を行っています。

JAは「農業協同組合」なので、地域農業を発展させ、組合員のくらしを守り高めることが最も重要な目的です。農業の生産力を高め、農業所得を向上させるため、営農技術の指導の他、安全で品質の良い肥料や農薬、農機具などを適正な価格で提供するなど、農家を総合的に支えています。

JAでは「農業」を農地、食べ物、地域のくらしや環境なども含めて広い意味で捉えます。学校給食への農産物の提供や農業体験などを通じて地産地消を促し、農業と食・くらしをつなげています。信用・共済事業の他、高齢者福祉事業なども行い、地域にくらす人々の生活をより良いものにすることで、地域の活性化に貢献しています。

(監修=広島大学 助教 小林元)

JAが行っている主な事業

指導事業	農家にアドバイスをする仕事です。職員が農家のもとに出向き、おいしく安全な農産物の作り方や家畜の育て方、農業の経営などについて相談にのっています。
販売事業	農産物などを販売する仕事です。農家から集めた農産物を共同で市場に出したり、直売所で販売したりしています。農産物を適正な値段で販売することは、農家の経営を支えるためにとても大切なことです。
購買事業	質の良い物をまとめて買って分ける仕事です。共同購入のしくみで、安全で品質の良い肥料や農薬、家畜の餌、農業機械、くらしに必要な物を計画的にまとめて買うことで、組合員は安定的に購入することができます。
信用事業	組合員からお金を預かり(貯金)、それぞれの組合員が必要ときに、借りることができる(貸付)ようにするなどの仕事です。集まったお金は組合員の農業やくらしのために役立てられ、地域の金融機関として大切な役割を果たしています。
共済事業	組合員やその家族、地域の人々が安心してくらすための仕事です。組合員はあらかじめ一定の「共済掛金」を拠出して共同の財産を準備し、火事や病気、自動車事故などが生じた場合に「共済金」を支払います。

耕そう、大地と地域の未来。

女性農業者を応援するための 「JAいわて花巻女性農業者支援制度」を実施します!!

JAでは、女性農業者の皆さんが意欲を持って農業生産に取り組むことができるよう、支援事業を実施します。

支援事業	助成内容
農業経営改善支援事業	農業経営改善に取り組む場合には、総事業費の10% (上限50,000円) を当JAが助成します。 ※補助事業を活用する場合は支援の対象外です。また、農業資金 (アグリマイティー資金 など) の活用を支援します。
先進地研修支援事業	新たな農業経営方式や技術などを導入しようと先進地事例などの研修をする場合、経費の2分の1 (上限10,000円/年) を助成します。 ※部会など他組織で企画した研修の経費については支援の対象外です。
グループ活動支援事業	女性農業者が中心となって、農業経営に関する研究などのグループ活動を新たに起こす場合に、立ち上げ経費として初年度に30,000円を助成します。

1. 支援対象者 ※女性に限ります

- ・農業に従事し、今後も農業経営の発展を目指して農業で頑張っていこうとする方。
- ・6次産業化など(農産物加工など)の多角経営を行っている方または目指す方。
- ・当JAの生産部会または関係組織に入会し、積極的に活動している方。
- ・新規就農者。
- ・その他代表理事組合長が認めた方。

2. 支援申請の手続き

支援を受けようとする方は、申請書に所定の項目を記載のうえ、各地域営農センター営農振興課または各支店窓口へ提出してください。

※申請書はJAいわて花巻ホームページの「あぐり情報」からダウンロードすることができます。

<JAいわて花巻ホームページURL> <https://www.jahanamaki.or.jp/news/article.php?p=1155>

3. 申請期間：1月～3月末まで ※4月に審査を行います。

◎お問い合わせ

営農推進部営農振興課 ☎0198-23-0985 西和賀地域営農センター営農振興課 ☎0197-85-3301
北上地域営農センター営農振興課 ☎0197-71-1330 遠野地域営農センター営農振興課 ☎0198-62-9585



役員室より

米政策の大きな柱であった、生産調整の配分は平成30年度以降、国から農業者(産地)が主体的に行う取り組みへと変わり、需給と価格の安定が確保できるか課題も抱えます。

しかし、この大事な時だからこそ、JAの組織力を最大限に発揮しなければなりません。生産目安に沿った主食用米の生産を基本に加工用米・飼料用米・麦・大豆・園芸作物を組み合わせて、水田を最大限フル活用していくことが重要と考えます。

具体的には、米集荷二〇〇万袋運動の継続的な取り組みと併せて、一億円販売園芸団地の核となる一千万円販売組織の拡大を図り、組合員農家の所得向上と経営安定に努めてまいります。そのためには、担い手との信頼関係をつくる出向く営農推進活動を構築し、提案型訪問の中で「農家手取り最大化実践」を行います。

JAがより近い存在になるよう、事業を進めてまいります。



常務理事
佐藤 力 夫

今こそ、JAの組織力を最大限に発揮

グリーンホーム落合 施設改修工事に伴う一時休業のお知らせ

グリーンホーム落合は温泉施設改修工事に伴い、一時休業いたします。

ご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

■工事予定

2月1日(木)～6月末まで

●お問い合わせ

グリーンホーム落合
(花巻市柵ノ目4-99-1)
☎0198-27-3390

購買代金請求書・ 販売品精算書の変更について

JAの経済システムの更改に伴い、平成30年3月以降お取引の当JAおよび(株)JAグリーンサービス花巻をご利用された際の請求書や精算書の書式が一部変更されます。

変更されるものは購買代金請求書、各種販売精算書(米穀・青果・畜産)などです。

また、封筒に封入した状態でのお渡しとなりますので、ご理解のほどお願いいたします。

詳細は、「ぼらーの花巻3月号」にてお知らせいたします。

●お問い合わせ

JAいわて花巻 企画管理部経理課
☎0198-22-6191
(株)JAグリーンサービス花巻
総務部総務課
☎0198-23-1211

(株)JAグリーンサービス花巻 農業機械大展示・即売会

農機センター花巻・石鳥谷・東和・遠野・北上・西和賀合同の「農業機械大展示・即売会」を開催します。新製品や目玉商品を多数展示。作業効率の向上やコスト低減に繋がる商品を提供します!農業機械以外にも各社の営農車やガス器具なども展示していますので、ぜひご来場ください。

■開催日時

3月23日(金)～24日(土)
午前9時～午後4時
※24日は午後3時まで

■場所

(株)JAグリーンサービス花巻本社特設会場(花巻市野田307-1)

●お問い合わせ

(株)JAグリーンサービス花巻
農機センター花巻
☎0198-23-2110

花巻産直スタンプラリー開催中!!

花巻市産地直売所連絡協議会が主催する「平成29年度冬季花巻産直スタンプラリー」が開催中です。この機会に、まだ行ったことのない産直に足を運んでみませんか?

■開催期間

1月15日(月)～3月31日(土)

■参加店舗

母ちゃんハウスだあすこ、すぎの樹を含む花巻市内の産直10店舗

■内 容

参加店舗で500円以上(税込)買い物をすると台紙にスタンプを押せます。5個集めると景品が当たる抽選に参加できます(同一産直は不可)。

■賞 品

特賞(4名)…花巻市内の温泉施設日帰り入浴券(回数券)
お米賞(5名)…銀河のしずく5kg
産直賞(50名)…産直商品詰め合わせセット
特別賞(50名)…産直協議会クーポン券(500円分)
※賞品の当選は各産直店舗に掲示および賞品の発送をもって発表に代えてさせていただきます。



●お問い合わせ
花巻市産地直売所連絡協議会事務局
(大迫産直センターアスタ)
☎0198-48-2760

JAのホームページの直売所情報からも確認いただけます。

▼JAいわて花巻ホームページ
<https://www.jahanamaki.or.jp/>



給与受取口座はJAへ! 今なら特製QUOカードをプレゼント!

この春限定!JAバンクで新たに給与受取口座を指定し下記の条件を満たした方に、JAバンク特製QUOカード5,000円分を応募者全員にプレゼントします。

■申込期間

2月1日(木)～5月31日(木)

■申込方法

専用の応募はがきまたはJAバンクHPからお申込みください。



●お問い合わせ 金融推進部本店営業課 ☎0198-23-0984 または、最寄りの各支店まで

●理事会だより

次の事項について審議され、全議案議決されました。
第13回理事会 開催日…1月26日(金)

■決議事項

- 第1号議案 志戸平温泉(株)事業再生計画の同意について
- 第2号議案 特定信用事業電子決済等代行業者との連携及び協働に係る方針の決定について
- 第3号議案 宅地等供給事業による土地取得について
- 第4号議案 育児・介護休業等に関する規程の改正について
- 第5号議案 公用印管理規程の改正について
- 第6号議案 介護事業に関する規程の廃止・制定について

●監事会だより

次の事項について協議されました。
第13回監事会 開催日…1月26日(金)

■協議事項

- (1) 平成30年度監事監査計画(案)について
- (2) 平成29年度決算監査の実施について
- (3) JA全国監査機構平成29年度財務諸表等監査(内部統制・査定監査)の立会について

ふうしゅてんけい

風景点趣

管内四季だより ㊸



「志賀来水瀑」

西和賀町沢内(大野内の沢)

写真・文/高沢 翔(西和賀町沢内)

西和賀町をメインに風景写真を撮っている写真家。

ホームページ「高沢翔写真館」<http://shou.eek.jp>

撮影データ(デジタルカメラ) 2018年2月上旬
ISO感度: 200 絞り: f22 露出補正: +0.7

西和賀町沢内字大野に温泉施設沢内バーデンがあります。近くには沢という沢があり、今の季節氷瀑が見られるとの情報がありました。雪の専門家であるOさんの案内でカンジキを履き沢沿いに歩くこと15分。林の隙間から太いツララが見え、急斜面を降りると見事な氷瀑が出現しました。JA花巻管内を巡り風景を撮っている私ですが、身近にあるこの光景には故郷再発見の思いでした。

冬を待たずに雪だらけ。今季の冬はとにかく寒いし雪が降りますね。車庫の屋根に登れるほど積もったのは15年ぶりくらいでしょうか。さて、JAは3月から新しい年度になります。と同時に私も広報担当一周年。テレビや新聞では伝えられない、JAの広報だから発信できることを追求していきたいです。【小原】

学 ぶことをやめた人は誰でも老いている。最近、ふと目にした言葉だ。確かに、20歳でも50歳でも80歳でも、学び続ける人はいつも輝いている。今まで取材を通して出会った方々もまた然り。誰もが探究心を持ち、輝いていた。毎日少しでも新しい発見を。一歩続ける。そんな、大人に私はなりたい。【佐藤】

編集者のマイナスの感情は「編集者」に表れる。こう言われ、私は人生から嫌いな事をする時間を無くした。もちろん嫌でもやらねばならぬ事は山ほどあるが、そんな時は徹底的に向き合う。すると興味湧き、好きになってくる。お陰で毎日が刺激的で楽しい。今後明るく元気に、前へ前へ進み続けるばらーのを発信し続けます。【大内】



編集後記

From Editor's

ぽらーの花巻

特集

はなまきキッズ農業塾 消費地・東京

素晴らしい私たちの農業



ちょっと
いい話

アスパラガス 作付 推進中!

JAいわて花巻のアスパラガスは岩手県内ナンパーワンの栽培面積を誇ります。農家の所得向上と経営安定、さらなる生産力の拡大と産地確立に向けて作付けを推進しています。

なぜアスパラガスなのか

- ◆春先の農家所得を確保できる!
- ◆他の農産物に比べ収穫・出荷作業が手軽で軽量!
- ◆大型機械を使用する必要なし!
- ◆選果は共同選果! 収穫後に未選果のまま出荷でき、作業労力を軽減できる!
- ◆定植後2年~3年経たないと収穫できるまでにならないが、一度定植すれば約10年以上も収穫が可能!
- ◆他の青果物の中でも比較的価格が安定!

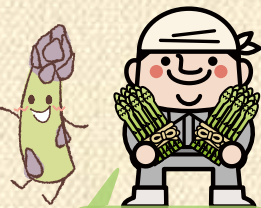
安心の充実フォロー

- ※技術別に階層別の指導会を実施
- ※栽培指導制度も充実
- ※JAと市町がタイアップし初期投資にかかる費用の一部を助成



こんなに面積 アップしています!

- 平成23年(基準年) 94.1ha
- 平成24年 第1次作付倍増運動
~26年 **113.5haに到達**
- 平成27年 第2次作付倍増運動
~29年 **129haに到達**
- 平成30年 12.7ha増を目指します!



運動当初に導入した株が3年~4年目を迎えたこともあり、収穫量が上がり、平成28年度には販売高が初めて2億円を超え、出荷量も211tに達しました。努力がしっかりと実を結んでいます!

1.笑顔溢れる和やかな雰囲気皆の信頼関係を象徴している2.収穫のピークは1月上旬~中旬。手際よく収穫が進む3.収穫後、選別機を使って規格ごとに分けてJAへ出荷する4.外は一面の雪化粧。ビニールハウスの中で、露地栽培よりも早く促成アスパラガスが収穫される5.母さんたちが手塩にかけて育てたアスパラガス

米 や小麦、ミニトマトなど多種多様な農畜産物を手掛ける(有)佐々木農園。そんな農園が、冬期にできる作業として促成アスパラガスの栽培を始めたのは平成17年の事だ。当時、栽培が盛んな県北に前社長が視察へ出向き、導入にこぎ着けた。

収穫最盛期を迎えたビニールハウスを訪ねると、明るい笑顔の母さんたちが出迎えてくれた。収穫を担当するのは母さんたち3人。畝いっぱい

に育ったアスパラガスの中から、いま収穫すべきその一本を見極め丁寧に、そして素早く切り取っていく。その姿はまさに熟練の技。瞬く間に、みずみずしいアスパラガスが積み上がっていく。

母さんたち3人。畝いっぱいに育ったアスパラガスの中から、いま収穫すべきその一本を見極め丁寧に、そして素早く切り取っていく。その姿はまさに熟練の技。瞬く間に、みずみずしいアスパラガスが積み上がっていく。

木勝志社長(表紙写真右上)は「冬に定期的に集まってコミュニケー



【農園データ】家族や地域住民など40代~70代の9人で構成。米や小麦、ホールクropp、牧草などを栽培している。促成アスパラガスは、28aで養成した根株をビニールハウス1棟で栽培。色が濃く鮮やかで茎が太い「ウェルカム」を県内に出荷している。前年度の実績は、数量516kgで、販売額は115万円。

CONTENTS

ぼらの花巻 ●No.240 / 平成30年(2018)2月号

- 02 ぼらのCOVER STORIES
- 04 特集 愛農土に生きるII
- 08 はなまきキッズ農業塾in消費地・東京
- 10 素晴らしき我らの農業
- 11 ぼらのNEWS ●地域の話
- 12 あぐりネット
- 13 輝くJA管内の児童・生徒たち!
- 14 かがやく女性部 / 知って納得JA
- 15 旬の産直大百科 / ぼらの広場
- 16 Information ●理事会だより / 監事会だより / 役員室より
- 16 風趣点景 ●管内四季だより / 編集後記

消費地を知る3日間

年の暮れ12月27日、今回で8年目を迎えた「はなまきキッズ農業塾」が始まった。

組合員家庭の5・6年生21人が、JAと友好提携を結ぶJA東京むさしのファーマーズマーケット（東京都小平市）で販売体験をしたほか、東京都中央卸売市場（大田市場／東京都大田区）では、セリや流通現場の空気を感じた。

農業塾を行う意味

未来を担う子どもたちに伝えたいのは、地域農業の尊さだ。

家族が作った農作物が、消費地でどのように販売され、消費者が何を感じながら購入するのかを、実際に肌で感じた3日間の農業塾。身近にある「農」は「食」という形で国民と関わり、食卓に運ばれるまでに多くの「人」が携わることを知った。

農業が、人が生きていく上で無くてはならない「食料」を生み出し、人々の心を豊かにする「食べる楽しみ」を作っていること、まさに「生きる」に直結する偉大な職業であることを伝える。



農業塾アイテム・2



研修のしおり

研修前や体験前には「研修のしおり」を開き、事前勉強をしてから研修に臨んだ！研修中も、担当の方からのお話を聞いて感じたことや、目にして気がついた事などをしっかりとメモとり、自身の中にインプット！

農業塾アイテム・1



農業塾帽子

身を引き締めってくれる農業塾帽子。移動中のリラックスモードから、研修へ向かう時にメリハリのある切り替えスイッチになった！

第8期生

21人の塾生キッズ達



小原	菊池	鎌田	小田	齋藤	吉田	佐々木	小森	桐子	根子	平賀	佐藤	藤根	牛嶋	八重	伊藤
ばら	ち	か	だ	と	た	た	た	子	子	か	か	か	か	か	か
小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪
(6)	(6)	(5)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(5)
岩	江	二	さ	み	東	大	石	石	笹	太	湯	湯	宮	矢	花
崎	釣	子	くら	な	和	迫	鳥	鳥	間	田	口	本	野	沢	巻

3日間の農業塾カリキュラム

- 1日目 (12/27)
 - 9:30 新花巻駅にて出発式
 - 14:00 (一社)家の光協会での研修。編集現場見学や座学
 - 16:00 東京都内見学
 - 18:00 JA全農グループ直営焼肉レストランにて夕食
- 2日目 (12/28)
 - 6:30 出発
 - 7:00 東京都中央卸売市場研修。施設見学や座学
 - 10:00 東京むさしのファーマーズマーケットで販売体験
 - 16:00 体験型展示科学館の見学
- 3日目 (12/29)
 - 10:00 東京ディズニーランド
 - 18:45 新花巻駅にて解散式



※JA全農グループ直営焼肉レストランでの夕食の様子です

はなまきキッズ農業塾 in 消費地・東京

素晴らしい私たちの農業

消費地で知る！

JAいわて花巻産のその先を探れ！

JAは、管内産の農作物や農業を営む事の尊さを感じ、地域農業や故郷に対して誇りを持てる次世代の担い手を育成しようと「はなまきキッズ農業塾」を毎年開校している。

今年度もまた、JA管内から元気なキッズ達が集まった！家族が生産した農作物がどのようにして販売され、食されるのかを探るべく、いざ消費地と流通の現場へ！



消費地を感じる

in
JA東京
むさし

販売体験

2日目、JAと友好提携を結ぶJA東京むさしのファーマーズマーケット「小平ファーマーズマーケット」(東京都小平市)での販売体験がスタート。東京といえど師走の風は冷たい。しかし、キッズ達はそんなのへっちゃら。「いわて花巻のおいしい農作物です」と大きな声で来店者をお出迎えし店舗前ににぎわいを加えた。米やリンゴ、JA子会社の乳製品や雑穀商品の試食や試飲、PRチラシなどを配りながら、「私たちの家族や農家が一生懸命作りました」と、元気にPRしてくれた。

頼もしき姿

体験前のあいさつの練習を見ると、この調子で大丈夫だろうかと、実は不安で



サンふじ



恋するおコメ

ひとめぼれ



雑穀



子会社加工品

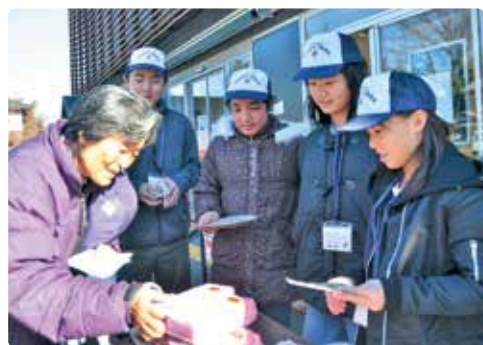
キッズ達が
JA産をPR

いっぱいであった。しかしそんな思いはすぐに打ち消された。待つだけではなく来店者に積極的に話しかけるキッズ達。自ら歩み寄り、交流を図る姿はハツラツと輝いて見えた。

体験前、農家が一生懸命に育てたものであることを心に刻み、PR商品の勉強を行っただけあって、来店者からの雑穀ご飯の作り方やリンゴの味についてなど、さまざまな質問にも戸惑うことなく立派に受け答え。未来の後継者たちの頼もしさを感じた瞬間である。

誇り

消費地での販売体験は、自分たちの家族が生産している農作物を購入する「消費者の生の声」を聞くことになる。消費者から発せられる「おいしい」や「いつも食べているよ」という声と笑顔は、地域農業や故郷、農業を営む家族を誇りに感じるきっかけとなっただろう。



流通現場を知る

in
大田市場

庄巻の大田市場

2日目、夜明け前にホテルを出発し東京都中央卸売市場(大田市場)へ。大田市場は毎日約3500tの農作物が全国各地・海外から集まる国内屈指の市場。JAからも1年を通して、多くの農作物が届けられ全国で販売される。市場内は大量の農作物が積み重なり、仲卸業者と売買参加者が農作物の値段をせり合い活気に溢れる。そんな様子にキッズ達は驚き、目を見開きながら見学した。

心に響く

「JAいわて花巻の農作物の品質は素晴らしい。首都圏や高級デパートで高い評価と人気があって、強く求められている」。これは、市場説明をしてくれた担当者の言葉である。説明を聞くキッズ達は背



筋をシャンと伸ばし、どこか誇らしげな、いい表情をしていた。

なんか凄い

家族が生産する農作物がどのような経路を経て消費者の元に届くのか知らないキッズ達にとって、この研修はこれまで空白だった流通ルートが一本に繋がった瞬間であろう。もちろん流通を全て理解するのは不可能だが、それでもいい。「農業ってなんか凄い」そんな感覚でいいのだ。この「凄い」が農業について新たな興味を持つきっかけになるのだから。

応援者たちの輪

in
家の光協会

(二社)家の光協会は、農業とJAの応援団として、「家の光」や「ちやぐりん」などの雑誌や本の発行に加え、JAや農家の支援を行っている。

発行書籍は人々が冊子を持ち寄り活用できる様に作られており、部会やJAなど



くれる人がたくさんいるのだ。

が記事を活用する時は講師として全国各地を飛び回ってくれる。家庭菜園や料理、工作、ライフプランや組織作りなど幅広い要望に応えて先生になってくれるのだ。農業の応援団は食べてくれる人だけじゃない。支えてくれる人がたくさんいるのだ。

農業塾に参加して

3日間の農業塾、キッズ達から感想を聞きました

- ★ 岩手の農作物がこんなにも評判が良くてうれしかった。
- ★ 売ることの大変さと売れたときの達成感を味わった。
- ★ 岩手の農作物がどこでどのように売られているのかを知れた。
- ★ 買ってくれた人が「岩手のものいつも買っているよ」「おいしい」「ありがとう」と言ってくれてうれしかった。
- ★ 班の皆で協力できたと、新しい友達がたくさんできた。
- ★ JAいわて花巻の魅力が東京の人たちに伝わってこれたのうれしかった。
- ★ 普段の生活では体験できないことはかりで楽しい3日間だった。
- ★ 知らないことをたくさん知れた。

